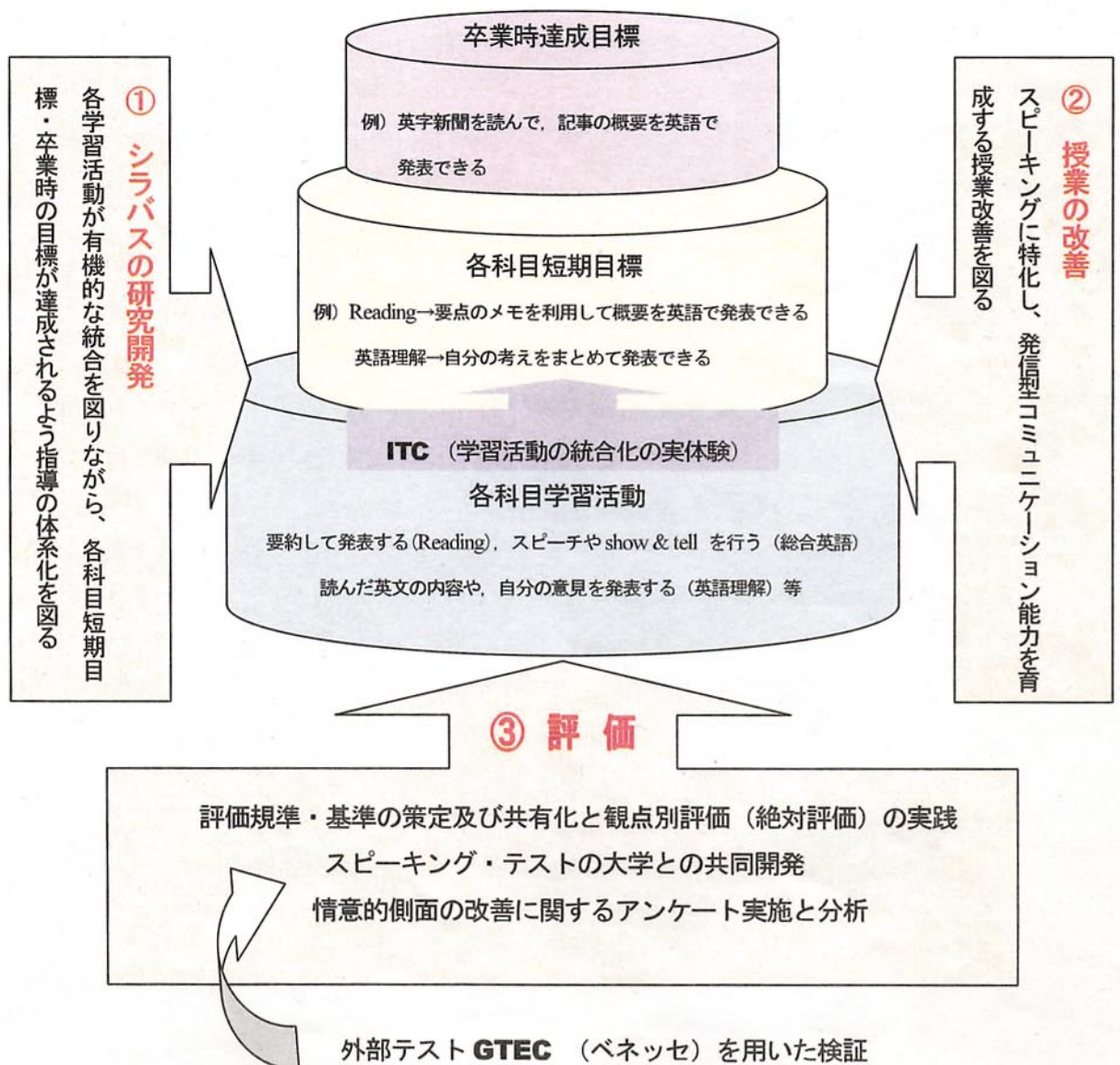


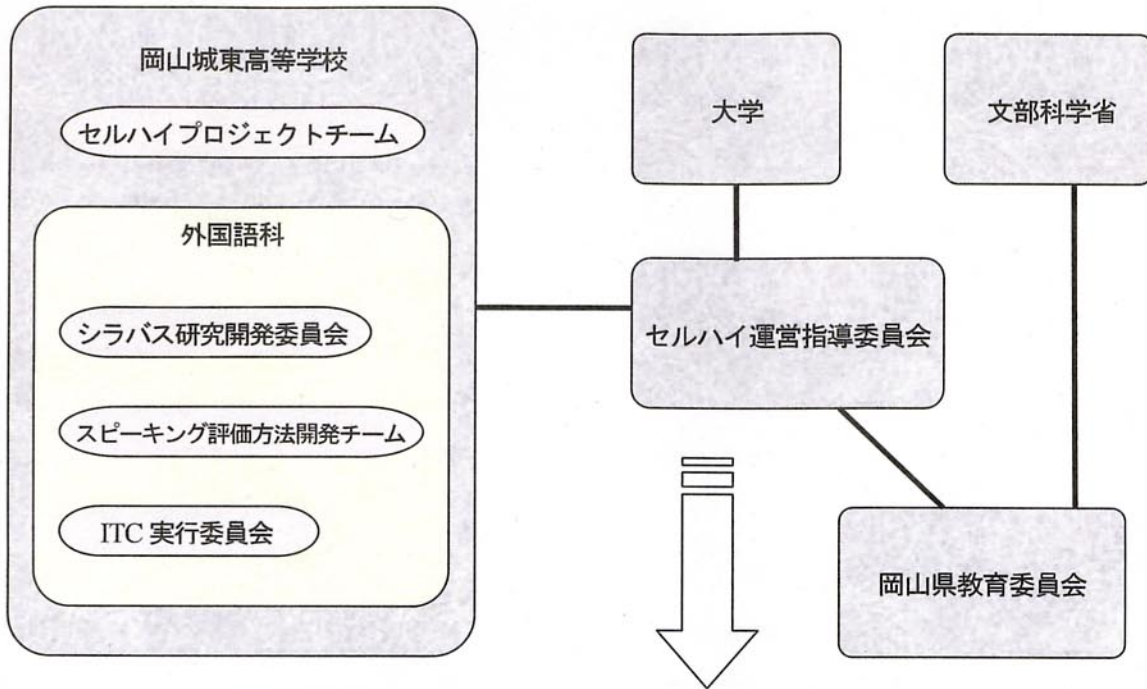
「読むこと」「書くこと」において、「TIMED READINGS, Third Edition BOOK ONE, Jamestown Publishers」の400語程度の英文をほぼ全員が約2分から2分30秒程度で速読し、その概要を100語程度の英文で要約することができる。また、「話すこと」においては、ディベート、ディスカッション等が準備に時間をかければ英語で行うことができる。

そして、研究開発を行うことによって、卒業時には、身近な論題について論題提示後数分で自分の意見をまとめディベートができたり、身近な話題についての自分の考え・意見を述べた100語程度の英文がすぐに書けたりするような英語力を身に付けさせることを目標とした。

II 研究開発概念図



III 研究開発組織



- セルハイ運営指導委員会**
- 高塚 成信 (岡山大学教育学部 教授)
 - 沼本 健二 (岡山県立大学保健福祉学部 助教授)
 - 高橋 俊章 (山口大学教育学部 助教授)
 - 今井 裕之 (兵庫教育大学学校教育学部 助教授)
 - 板谷 正夫 (岡山県教育庁指導課長, 平成14, 15年度)
 - 中井 智子 (岡山県教育庁指導課長, 平成16年度)
 - 入江 泉 (岡山県立岡山城東高等学校 校長)

セルハイ運営指導委員会 ☞【資料Ⅶ】: 県教委が設置し, 教育委員会, 研究指定校, 大学関係者の3者から成り, 研究の過程において指導・助言にあたる組織

セルハイプロジェクトチーム: 学校全体の取組としてセルハイをとらえるために設置した, 校長, 教頭, 事務部長, 教務課長, 生徒課長, 進路指導課長, 外国語科教員からなる校内組織

シラバス研究開発委員会 ☞【資料Ⅳ-1】: 本研究において, シラバス開発のために作った校内組織

スピーキング評価方法開発チーム ☞【資料Ⅳ-2】: 本研究において, スピーキング評価方法開発のために作った校内組織